

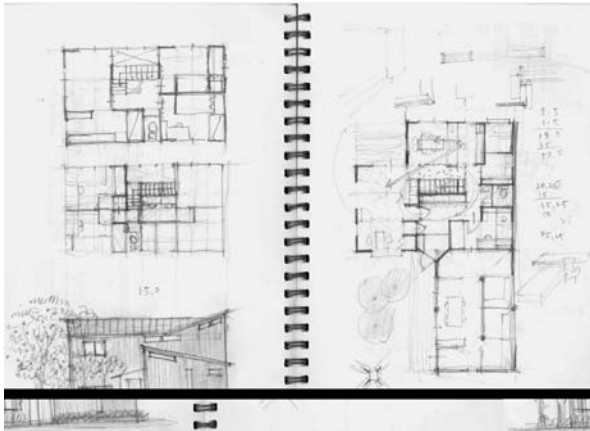


Member's Works

会員の仕事

# 「小波トタンの家」・・・一人称の建築計画・・・

設計：テシマ設計（株） 手島 亙



設計を進めるうえで、住み手となるお客様のご要望や多くの建築条件は、計画のきっかけとなり糸口となります。建築条件は時には制約となることもありますが、一見不自由とも思えるこの制約こそは建築を深く、豊にする要因ともいえます。

施主＝設計者である場合、建築条件の絞込みは簡単なようで中々大変です。希望する私に対して形をつくる私が同じであるなかで多くのことを決定することは、ある段階で中断する作業に似ています。普段お客様に接するとき客観的にお伝えできたことも、自分の家では難しいものですね。



ここでは、今までの空間体験や記憶、メモ、スケッチなどを自分の胸にしまっておいた多くの引出しの中でも、古い引出しを開け、それに頼って設計を進めてみました。この家の主要な部材である木材やトタン板や紙は、半世紀以上前に建てられ自分が育って今も健在な家の構成部材です。その表情は今に再現してもきっと健康に街の一部となってくれるだろうという思いを込めました。



### ■データ

- 建設地 : 南埼玉郡宮代町
- 用途 : 事務所併用住宅
- 規模 : 延べ160.22㎡ (48.4坪)
- 施工 : (有)アルファプランニング
- 構造材 : (協)フォレスト西川 埼玉県産材の杉使用
- 特記事項 : 水の床暖房(イゼナ)、断熱材セルロースファイバー(システムE)、さわら浴槽(河原桶店)  
建築坪単価 78万円(設備込、税抜き)

